

ベルマーク新聞 10月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

自然を知る大切さ、五感で体験

東京・八王子盲学校で防災科学教室



①花崎さんは「今日は、本物の火を使います」とろうそくを配った②大きな段差をまたぐと、次は泥水が待っている③ハンドベルの音の答えはミのフラット、みんな大正解。「良い耳をしているね」と花崎さん④アイマスクをして完全に見えない状態で味の実験、分かった人から手を挙げよう⑤教室にはテントが設置された。どれくらい広いだろうか、中には何かがあるのだろうか⑥風に向かって傘をさす体験

東京都八王子市にある都立八王子盲学校(山岸直人校長、53人)で9月18日、防災科学教室が開かれました。ベルマーク財団と国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)の共催で、2018年度から始まったプログラムです。

講師の花崎哲司さんは元香川県立盲学校教諭で、定年後は防災科研の客員研究員として防災教育などに取り組んでいます。この日受講したのは小学部の児童9人。弱視から全盲まで、障がいの程度は人によって様々です。

「あ、テントだ」「なんか本格的じゃない?」——。テントやプール、ダンボール箱、ロープなどの大がかりな教材を見た子どもたちは、早くも気分が盛り上

がっています。花崎さんは自己紹介の後、普段から五感を研ぎ澄ませておくことの大切さを話し、実際にみんなの五感はどうなのか、確かめていきます。

最初は聴覚。ダム放水、増水した多摩川の音などを聞きます。リコーダーとハンドベルを使った音の高さを当てるクイズをすると、みんなとても良い耳を持っていました。「さっきのような水の音がしたら逃げてね」と花崎さん。

他の感覚も試します。ブロック2個を両手で持ち上げて重さを実感。さらにスギとヒノキの木片で匂いを比べたり、ろうそくの火の匂いを嗅いだり……。アイマスクで完全に目をふさいだ状態での味覚の実験では、オレンジジュースとお茶

をみんなあつという間に識別し「匂いでわかった」「おいしい」。そこで花崎さんが「晴眼の人は『味がわからない』『気持ち悪い』と言うんだよ」と言うと、驚きの表情が広がりました。

さらに実験を重ね、テントにも実際に入ってみたりした後、いよいよ教室から飛び出して避難体験です。点字ブロックの代わりにロープを貼った廊下を歩きます。しばらく行くと障害物や、上から吊ったダンボールで道がふさがれています。扇風機に向かって傘を開き、風の怖さを体感するコーナーも。子どもたちは、後に続く子に「ここに何かあるよ」と心配りしながら前へ進みます。

最後に用意されていたのは、床上浸水

を想定したふたつのプール。手前側はスポンジやつぶれたペットボトル、石などが入っています。奥側は泥水です。全員がアイマスクを着けて白杖を持ち、靴と裸足の両方で歩きました。「土がきもちわるい」「靴が重たい」など、さまざまな反応がありました。みんなで声をかけ合い、時折先生の手も借りながら、全員が無事に体験を終えました。

花崎さんは最後に、自分のこと、周りのこと、周りの自然のことをよく知っておくことの大切さを説きました。6年生が「将来自立するために今からいろんなことを知っておきたい」「災害が起きても、今日のことを活かして避難したい」と感想を述べて教室は終わりました。

東北3県の133校に総額1200万円

2020年度東日本大震災被災校支援

東日本大震災から10年。ベルマーク財団は今年も被災校に寄り添います。岩手・宮城・福島3県の小中学校133校に対し、総額1200万円相当の支援を実施します。

内訳は以下の通り。校名は3面に掲載しています。

- ・岩手県 小学校30校、中学校23校
- ・宮城県 小学校12校、中学校31校
- ・福島県 小学校25校、中学校12校

各県の小中学校長会に支援先リストの作成をお願いしました。校長会の希望で、昨年の台風被害の被災校も一

部含まれています。福島県の小学校は複数校が同じ校舎で学ぶケースも多く、支援単位としては17グループになります。

支援額は、各県の小中学校それぞれ200万円相当。必要な備品を購入するか、児童・生徒の移動の手段としてバス代として使うか、選んでもらいます。

その原資は、ベルマーク運動参加校がお買いものをする自動的につくられる購入額の10%の援助資金、各校から寄せられた友愛援助の現金寄付、「被災地に」として

送られてくる震災寄贈マーク、そしてウェブベルマーク運動で生み出された助成金です。ベルマークに携わる多くの方々の思いが被災校を支えています。2011年の震災発生以来、財団が支援した学校は、今年度分を含めてのべ2026校、支援総額は5億円を超えました。

未曾有の規模だった東日本大震災ですが、その後も台風や大雨、地震など様々な災害が日本列島を襲っています。今後もベルマークは被災した学校を支援していきます。子どもたちが等しく笑顔で学べることを願って。